

2014 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	キリスト教・同志社科目
-----------	-------------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

キリスト教・同志社科目の実施率は 100%であり、回答率は昨年度春学期より上昇し、82.5%であった。

昨年度春学期のアンケートと比較し、以下 4 点の特徴が明らかになった。

- (1) 教員の話の理解度、授業方法の工夫、授業内容とシラバスの一致は平均値 4.0 を超え、全体的に高い。これは春学期とほぼ同じ傾向を示している。
- (2) 授業に対する意欲的な取組、授業による知的好奇心の高まり、授業内容の理解、教員の授業に対する配慮に関する項目も平均値 3.6 以上であり、全体的にやや高い傾向にある。このことも春学期とほぼ同じである。ただ、全学のそれぞれの項目の平均値がほぼ 4.0 を超えていることから、全体的には低いことが分かる。これも昨年度とほぼ同じ傾向である。
- (3) 今回、授業時間以外の学習時間を一週間に何時間学習したのかを明確し、全学平均と比較したグラフが新たに提示されている。とてもわかりやすくなった。キリスト教・同志社科目の学習時間が 0.27 時間であり、全学平均よりも低い。内訳として、0 分が 65.1%という結果であった。これは昨年度の春学期とほぼ同じである。
- (4) DWCLA10 の選択率に関しても、思考力が全体の 51.1%であり(昨年度春学期 50.7%)、最も高い比率であり、次に想像力 25.9% (昨年度春学期 30.8%程度) が続き、思いやる力が全体の 24.3%(昨年度春学期 16.1%)を占めている。春学期に比べて、想像力の項目が下がり、思いやる力の上昇がわかる。

全学の科目の平均値と比べると本科目が全体としては、やや低い傾向が見られる。キリスト教・同志社科目は、他の科目と性格を異にしているので、必ずしも同じ観点では評価できない。本科目は、本学の教育理念の一つである「キリスト教主義」を担っている。今後、更にこの科目が充実するように期待したい。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育・研究推進センター